

「疫学と保健統計」試験問題集

以下の問題で適切な答を指示に従って1つまたは2つ選ぶか、解答を数値で記入しなさい。
回答は解答用紙に記入すること。

(1) 疫学の説明で不適切な説明はどれか。

1. 流行病に関する学門
2. リスク評価のための統計学
3. EBMの基礎的方法論
4. 健康事象の因果律は問題としない

(2) 疫学の基本的な3要素に含まれていないものはどれか。

1. 人
2. 病院
3. 場所
4. 時間

(3) 疫学における三元論で要因でないのはどれか。

1. 個体要因
2. 環境要因
3. 社会要因
4. 病原要因

(4) 疫学の二元論の2つの要素はどれか。2つ選びなさい。

1. 主体
2. 客体
3. 環境
4. 時間
5. 場所

(5) ヒポクラテスについての説明で正しいのはどれか。

2つ選びなさい。

1. ギリシャのコス島の生まれである。
2. イタリアのシチリア島の生まれである。
3. 衛生学を初めて”Hygiene”と呼んだ。
4. ローマの大排水溝を作った。
5. 「空気・水・場所について」という著作がある。

(6) 古代ローマ帝国のガレヌス Galenus の説明で正しいのはどれか。

2つ選りなさい。

1. ギリシャのコス島の生まれである。
2. イタリアのシチリア島の生まれである。
- 3. 衛生学を初めて”Hygiene”と呼んだ。
4. ローマの大排水溝を作った。
- 5. 健康について衣食住の重要性を指摘した。

(7) ドイツ留学後、陸軍軍医になり、文学的名声を得ると共に日本の公衆衛生学の発展に寄与した人物は誰か。

1. 高木 兼寛
2. 緒方 正規
- 3. 森 林太郎
4. 北里柴三郎

(8) 人名との組合せで適切でないものはどれか。

1. ナイチンゲール ——統計学
2. ジョン・グラント ——生物統計学の創始者
3. ジョン・スノウ ——コレラと飲料水
- 4. ウィリアム・ファー——教区記録の疫学的分析

(9) WHOの健康の定義に含まれていない要素はどれか。

1. 身体的健康
2. 精神的健康
3. 社会的健康
- 4. 霊的健康

(10) 歴史的な健康概念の変化で正しいものはどれか。

- 1. 身体概念→心身概念→生活概念
2. 身体概念→生活概念→心身概念
3. 心身概念→身体概念→生活概念
4. 身体概念→心身概念→社会概念

(11) 太平洋戦争直後の日本の公衆衛生上の4つの重点政策で正しいのはどれか。

- 1. 急性伝染病対策, 慢性伝染病対策, 母子対策, 栄養改善対策
2. 急性伝染病対策, 慢性伝染病対策, 母子対策, 成人病対策
3. 急性伝染病対策, 慢性伝染病対策, 成人病対策, 公害対策
4. 急性伝染病対策, 母子対策, 成人病対策, 栄養改善対策

(12) 公衆衛生の発展で誤りはどれか。

1. 第1期は伝染病の流行予防の開始
2. 第2期は予防接種の確立期
- 3. 第3期は予防医療の定着期
4. 第4期はキュアよりケアの時代

(13) 前向き調査で正しいのはどれか。

- 1. イベント情報の信頼性が高い
2. 費用はあまりかからない
3. ケース・コントロール研究は前向き調査である
4. 研究結果を短期間に得られる

(14) 疫学調査法のうち時系列的に調査を行わない方法はどれか。

- 1. 断面調査
2. コホート調査
3. 前向き調査
4. 後向き調査

(15) 胃がん患者の飲酒の影響を調べるための症例－対照調査で必要な対象者はどれか。

1. 飲酒しない胃がん患者
2. 胃潰瘍で入院中の患者
3. アルコール依存症の患者
- 4. 健康な一般人

(16) 疫学調査法で正しいのはどれか。

- 1. 既往コホート調査は縦断調査である。
2. 国勢調査は縦断調査である。
3. 症例－対照研究は断面調査である。
4. 実験的研究は疫学調査ではない。

(17) 症例－対照研究で正しいのはどれか。

1. 健康事象の因果推論には向いていない。
- 2. 臨床の場での研究に向いている。
3. 選択バイアスは問題にならない。
4. 調査期間は長期に及ぶのが普通である。

(18) 無作為抽出法でないのはどれか。

1. 系統的抽出法
2. 多段（階）抽出法
3. 層（別）化抽出法
- 4. 応募法

(19) 後向き調査で正しいのどれか。

1. リスク比が求められる
2. レイト比が求められる
- 3. オッズ比が求められる
4. リスク差が求められる

(20) コホート調査で誤りはどれか。

1. 縦断的調査である
2. 前向き研究である
3. レイト比の推定ができる
- 4. 既往コホート調査は後ろ向き研究である

(21) コホート調査で正しいのはどれか。

1. 胃がん患者と健常者の比較研究
2. ある地域での交通事故の性・年齢別分布を調べる調査
- 3. 原爆被爆者の追跡調査
4. 肺がん患者の既往歴の調査

(22) ケース・コントロール研究で正しいものはどれか。

1. 断面研究である
2. 前向き研究である
3. リスク比を求められる
- 4. マッチングが必要である

(23) リスク比を直接求めることができない研究デザインはどれか。

1. 前向きコホート研究
2. 既往コホート研究
3. 断面研究
- 4. 症例－対照研究

(24) ランダム化比較試験で正しいのはどれか。

1. 対象はランダムに抽出される。
2. 2群に分けた場合、ある変数の2群の平均値は等しくなる。
- 3. 対象にランダムに処理を割り当てる。
4. 病院の患者は対象に向いていない。

(25) 喫煙と肺癌発症に関する正しい因果推論ができるのはどれか。

- 1. タバコを吸うAさんと吸わないAさんを追跡調査する。
2. タバコを吸うAさんと吸わないBさんを追跡調査する。
3. タバコを吸うAさんと双子でタバコを吸わないBさんを追跡調査する。
4. AさんとBさんを無作為にタバコを吸うか吸わないかを割り当て追跡調査する。

(26) 断面調査で正しいのはどれか。

- 1. 特定の特性の性・年齢分布が得られる
2. レイト比の推定ができる
3. 特定の疾患の因果推論ができる
4. 実施には膨大な経費が必要である

(27) データの分布の代表値でないのはどれか。

1. 平均値
2. 中央値
- 3. 偏差値
4. 最頻値

(28) 2変数の相関関係について正しいのはどれか。

1. 単相関係数は2変数の直線や曲線の関係を表す。
2. 一方の変数が小さくなると、他方の変数も小さくなる傾向があれば、負の相関である。
3. 順位相関係数は順位データにしか用いることができない。
- 4. 単相関係数の2乗は変数間の説明できる割合を示す。

(29) 単相関係数で正しいのはどれか。

1. ゴルトンの相関係数の別名である。
2. スピアマンの順位相関係数の別名である。
- 3. ピアソンの積率相関係数の別名である。
4. ケンドールの順位相関係数の別名である。

- (30) ピアソンの積率相関係数で正しいのはどれか。
1. 2変数間のさまざまな関係を示す統計学的な指標である。
 - 2. 2変数間の直線的な関係を示す統計学的な指標である。
 3. 2変数間が無相関の場合には -1 になる。
 4. 数値が 0.5 の場合には2変数間には相関がほとんどない。
- (31) 相関関係から因果関係を推論するための絶対条件はどれか
1. 関連の強さ
 - 2. 時間的先行性
 3. 一致性
 4. 特異性
- (32) データの標準化で正しいのはどれか。
1. データを平均 50 、標準偏差 10 に変換することである。
 - 2. データを平均 0 、標準偏差 1 に変換することである。
 3. データを標準正規分布に変換することである。
 4. データを偏差値に変換することである。
- (33) クロス集計の独立性の検定で有意になった場合の正しい解釈はどれか。
1. クロス集計に用いた2変数は独立である。
 - 2. クロス集計に用いた2変数は独立ではない。
 3. クロス集計に用いた2変数は意味のある関係がある。
 4. クロス集計に用いた2変数は意味のない関係である。
- (34) 以下の方法で記述疫学的手法ではないのはどれか。
- 1. 相対リスクの推定
 2. 死亡率の年齢分布
 3. 死亡率の地域分布
 4. 特定疾患の有病割合の年齢分布
- (35) 無相関の検定で正しいのはどれか。
1. 有意になった場合、無相関であることが証明された。
 2. 有意な相関とは、相当強い相関である。
 - 3. 有意な相関とは、 0 でない相関のことである。
 4. 無相関の検定は直接確率法が計算しやすい。

- (36) 統計的仮説検定で正しいのはどれか。
1. 有意差が出た場合、その差は臨床的にも意味がある。
 2. 有意でない場合、本当に差がないことが証明された。
 - 3. 有意差があっても実際的に意味があるとは限らない。
 4. 有意でない場合、これ以上追求する研究ではない。
- (37) 交絡因子で正しいのはどれか
1. 多対多の因果関係には交絡因子は存在しない
 2. 交絡因子は研究対象疾患のみと関係がある
 3. 交絡因子は研究対象疾患のリスク因子とのみ関係がある
 - 4. 交絡因子は研究対象疾患のリスク因子である
- (38) 疾患のリスク因子と交絡因子について正しいのはどれか。
- 1. 研究上の疾患のリスク因子である。
 2. 研究上の疾患がリスク因子になっている。
 3. 研究上のリスク因子とは関係がない。
 4. 研究上のリスク因子と疾患と因果連鎖をなしている。
- (39) 交絡因子を除くための方法で正しいのはどれか。
1. 統計学的方法では除去できない。
 2. 研究デザインでは除去できない。
 - 3. 層別解析で除去できる。
 4. 統計的解析なら必ず除去できる。
- (40) 調査集団選択によるバイアスで正しいのはどれか。
1. 記憶によるバイアス
 2. 面接者によるバイアス
 3. 判定者によるバイアス
 - 4. 患者の入院割合によるバイアス
- (41) バイアスで誤りはどれか。
1. 正確な因果推論を妨げる
 - 2. 統計学でバイアスを必ず補正できる
 3. 真値からの系統的なずれである
 4. 調査の企画，データ収集時に生じる

(42) 疫学調査のバイアスで正しいのはどれか。

1. バイアスは偶然変動のことである。
2. バイアスは統計学的分析で除去できる。
3. バイアスとは一定方向の偏りをいう。
4. バイアスは調査の時には入らない。

(43) 症例・対照調査で入りやすいバイアスで、正しいのはどれか。

1. 対照の方が健康に関する知識が豊富なことで生じるバイアス
2. 症例が健康な振りをすることで生じるバイアス
3. 症例と対照が異なる集団であることから生じるバイアス
4. 症例が自分の病気の原因を推測することによるバイアス

(45) 人口10万人の町民のうち、5年間の観察期間で10人が死亡した。

期間中のこの町の死亡率はいくつか。以下の数値で正しい番号に○を付けよ。

1. 0.001
2. 0.0001
3. 0.0002
4. 0.00002

(46) 人口10万人の町民のうち、5年間の観察期間で10人が死亡した。

期間中のこの町の死亡割合はいくつか。以下の数値で正しい番号に○を付けよ。

1. 0.001
2. 0.0001
3. 0.0002
4. 0.00002

(47) 表1から疾患Aと要因Bのオッズ比を求めよ（小数第一位まで）。

表1. 疾患Aと要因B

疾患A	要 因 B		計
	あり	なし	
あり	25	5	30
なし	10	10	20
計	35	15	50

(答)5.0

(48) 割合はどれか。

- 1. 高血圧患者の有病率
- 2. 肺がんの死亡率
- 3. 喫煙の胃がんに関する相対危険
- 4. 喫煙の胃がんに関するオッズ比

(49) A町の50歳以上の住民1万人を10年間追跡調査したところ、50人が肺がんを発症した。肺がんの発症率で正しいのはどれか

- 1. 1万人対50人
- 2. 1万人年対50人
- 3. 10万人対50人
- 4. 10万人年対50人

(50) 表1から疾患Aに対する要因Bのリスク比を求めよ（小数第一位まで）。

表1. 疾患Aと要因B

疾患A	要 因 B		計
	あり	なし	
あり	20	10	30
なし	40	30	70
計	60	40	100

(答)1.3

(51) 6人の体重が、50、70、60、45、55、65Kgのとき、中央値はいくつか求めよ。
(小数第一位まで)

(答)57.5 (Kg)

(52) 以下の表に50人の体重のデータが記載してある。
中央値はいくつか。

表. 50人の体重のデータ (Kg)

39
40 42 42 42 44
46 47 48 48
50 50 51 52 54 54 54
55 56 56 57 57 57 58 58 58
60 61 61 61 61 62 62 62 63 64 64
65 66 66 67 67 67 68 69
70 70 70 70 74

(答) 58 Kg

- (53) 集団食中毒の原因調査で正しいのはどれか。
1. 原因食品の推定には微生物学検査を行う
 - 2. 原因食品の推定にはマスターテーブルを作成する
 3. 原因食品の推定には聞き取り調査を実施する
 4. 原因食品の推定には立ち入り調査を実施する
- (54) 水俣病で正しいのはどれか。
1. 砒素中毒症である
 - 2. 視野狭窄, 知覚障害などが認められる
 3. 骨粗しょう症が認められる
 4. 神岡鉱山の廃水による
- (55) 環境汚染の健康影響の組合せで正しいのはどれか。
- 1. 水俣病－有機水銀
 2. 四日市公害－カドミウム
 3. イタイイタイ病－亜鉛
 4. 新潟水俣病－ダイオキシン
- (56) イタイイタイ病で誤りはどれか。
1. 富山県神通川流域で多発した
 2. 経産婦間に多発した
 3. 骨軟化症に類似した症状である
 - 4. 肝障害が多発した
- (57) 新潟水俣病で正しいのはどれか。
1. 1950年代に患者が確認された
 - 2. 昭和電工鹿瀬工場の排水による
 3. 硫化水素による健康被害である
 4. 日本ガス化学工場の排水による
- (58) 窒素酸化物による健康被害で正しいのはどれか。
1. 固定発生源が主原因である
 - 2. 移動発生源の問題が大きい
 3. 硫黄酸化物による汚染の方が問題が大きい
 4. ディーゼル車の排出規制はガソリン車より厳しい

- (59) 平成 21 年 10 月 1 日現在の日本人口について正しいのはどれか。
1. 第 2 次世界大戦後ずっと増加し続けている
 2. 平成 16 年まで増加したが以後は減少し続けている
 3. 平成 16 年まで増加したが以後は減少し、再び増加し続けている
 - 4. 平成 16 年まで増加したが以後は減少し、再び増加に転じたがまた減少している
- (60) 老年化指数で正しいのはどれか。
1. 従属人口の生産年齢人口に対する比を 100 倍したものである。
 2. 年少人口の生産年齢人口に対する比を 100 倍したものである。
 3. 老年人口の生産年齢人口に対する比を 100 倍したものである。
 - 4. 老年人口の年少人口に対する比を 100 倍したものである。
- (61) 以下の健康指標で正しいのはどれか。
1. 乳児死亡率は集団の健康指標としては不適である
 2. 年齢訂正死亡率は高齢者の比較に適している
 3. 総再生産率は 1 人の女子が一生に生む平均的児数である
 - 4. 平均寿命は集団の衛生状態を比較するのに適している。
- (62) 人口静態統計で正しいのはどれか。
1. 出生と死亡の年次傾向に関する統計を扱う。
 2. 婚姻の年次傾向に関する統計を扱う。
 - 3. 集団を時間的に断面的に捉えるための統計を扱う。
 4. 集団を時系列で捉えるための統計を扱う。
- (63) 生命表について正しいのはどれか。
1. 昭和 20 年にわが国で初めての生命表が作成された。
 - 2. 生命表は年齢別死亡率をもとに計算して作成する。
 3. 簡易生命表は 5 歳間隔の死亡率から計算して作成する。
 4. 平均寿命は 1 歳の平均余命より大きい。
- (64) 平成 21 年 10 月 1 日現在の日本の老年人口の割合で正しいのはどれか。
1. 4.9%
 2. 12.0%
 3. 17.3%
 - 4. 22.7%

(65) 平成 21 年の日本の合計特殊出生率で正しいのはどれか。

1. 0.67
- 2. 1.37
3. 2.13
4. 3.65

(66) 平成 21 年の日本の死因別死亡の順位で正しいのはどれか。

1. 心疾患、脳血管疾患、悪性新生物
2. 心疾患、悪性新生物、脳血管疾患
3. 悪性新生物、脳血管疾患、心疾患
- 4. 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患

2006年～2012年 疫学・保健統計 保健師国家試験過去問集

〔問題1〕下痢で入院中の乳児の便からベロ毒素陽性の腸管出血性大腸菌O157が検出され、病院の医師から感染症患者発生の届出があった。

保健所の対応で正しいのはどれか。(2006年度午前問題53)

1. 医師に食中毒患者発生届の提出を求める。
2. 患者に感染症指定医療機関への入院を勧告する。
3. 感染症の診査に関する協議会を招集する。
- 4. 疫学調査を行う。

〔問題2〕胃癌とアスベスト曝露の関係を調べるための症例対照調査の結果を表に示す。 χ^2 検定では危険率5%で有意ではなかった。

(単位:人)

	アスベスト 曝露あり	アスベスト 曝露なし	計
患者群	16	24	40
対照群	8	32	40
計	24	56	80

$$\chi^2=3.81 \quad \chi^2(p=0.05)=3.84$$

解釈で正しいのはどれか。(2006年度午前問題59)

1. アスベスト曝露が胃癌の原因である。
2. アスベスト曝露が胃癌の発生に大きく影響している。
3. アスベスト曝露と胃癌の発生は無関係である。
- 4. 偶然の結果で有意にならなかった危険がある。

〔問題3〕受療率の計算に必要なのはどれか。(2006年度午前問題60)

1. 1年間に発生した患者数。
2. 1年間に発生した有症状者数。
3. ある時点の疾病を有する者の数。
- 4. ある時点の医療機関を受信している者の数。

〔問題4〕多量飲酒者2,000人と非飲酒者3,000人とを5年間追跡し、多量飲酒者から200人、非飲酒者から150人のがん罹患を確認した。(2006年度午前問題64)

多量飲酒のがん罹患に対するリスク比はどれか。

1. 0.29
2. 0.50
- 3. 2.00
4. 2.11

〔問題 5〕 基本健康診査の結果を表に示す。

(単位:人)

疾病A疑い	疾病A疑いのうち 確定診断数	疾病A治療中	疾病Aなし	受診者数
900	150	100	9,000	10,000

受診者における疾病Aの有病率はどれか。(2006 年度午前問題 61)

- 1. 1.5%
- 2. 2.5%
- 3. 10.0%
- 4. 16.7%

〔問題 6〕 ある高齢者施設の入所者に感染症が集団発生した。その結果を表に示す。

(単位:人)

入所者数	発症者数	入院者数	死亡者数
250	100	30	10

致命率はどれか。(2006 年度午前問題 62)

- 1. 4%
- 2. 10%
- 3. 33%
- 4. 40%

〔問題 7〕 ある国の調査で判明した、1 日 25 本以上喫煙する大量喫煙者と非喫煙者の特定死因の死亡率を表に示す。

	死亡率(人口 1,000 対)	
	大量喫煙者	非喫煙者
肺 癌	2.27	0.07
大腸癌	2.59	1.91
慢性気管支炎	1.06	0.05
虚血性心疾患	9.93	7.32

寄与危険度が最も高い疾患はどれか。(2006 年度午前問題 63)

- 1. 肺 癌
- 2. 大腸癌
- 3. 慢性気管支炎
- 4. 虚血性心疾患

〔問題 8〕ある市の中学校 10 校を無作為に 2 群に分け、片方に新しい性感染症予防教育を実施し、もう一方に性感染症のパンフレットを配布した。その前後に予防行動について意識調査を行った。

この調査方法はどれか。(2006 年度午前問題 65)

- 1. 生態学的調査
- 2. 横断的調査
- 3. 前向きコホート調査
- 4. 地域介入調査

〔問題 9〕多量飲酒と肺癌に関する症例対照調査を実施した。多量飲酒の肺癌発生に対するオッズ比は 2.0 であったが、多量飲酒と喫煙との関連が強いので、喫煙有無別に集計した。喫煙有群、喫煙無群ともにオッズ比は 1.0 となった。

多量飲酒と肺癌との関係に影響を与えている喫煙の作用はどれか。

(2006 年度午前問題 66)

- 1. 危険因子
- 2. 交絡因子
- 3. 情報バイアス
- 4. 選択バイアス

〔問題 10〕基本健康診査の結果を中学校区別（人口数千人数単位）に集計した。総コレステロール値が高い者の校区別割合に差があった。(2006 年度午前問題 67)

次に行うことで正しいのはどれか。

- 1. 年齢調整をして比較する。
- 2. 症例対照調査を企画する。
- 3. 小学校区別に集計する。
- 4. 回帰分析を行う。

〔問題 11〕集団健診で行うスクリーニング検査の特異度が低い場合の問題点はどれか。

(2006 年度午前問題 68)

- 1. 判定に時間がかかる。
- 2. 測定者によって結果に変動が起こる。
- 3. 患者の見落としが多くなる。
- 4. 精密検査の対象者が増える。

〔問題 12〕感染症のアウトブレイクで正しいのはどれか。(2006 年度午前問題 69)

- 1. 国内常在感染症では起こらない。
- 2. 動物由来感染症は起こらない。
- 3. 国際的な流行をいう。
- 4. 天然痘では 1 例でも発生した場合をいう。

〔問題 13〕 小学校で下痢、腹痛を発症した児童が集団発生し、原因曝露日と推定された比の学校給食の喫食調査を行った。結果を表に示す。

	食べた		食べない		(人)	相対危険度
	発症	未発症	発症	未発症		
パン	95	200	5	20		1.6
牛乳	98	190	2	30		5.4
サラダ	70	170	30	50		0.8
焼魚	40	10	60	210		3.6

解釈で正しいのはどれか。(2006 年度午前問題 70)

1. パンが原因食品である可能性が低い。
- 2. 牛乳が原因食品である可能性が高い。
3. サラダは予防要因である可能性が高い。
4. 焼魚が原因食品である可能性が高い。

〔問題 14〕 近年の心疾患の疫学で正しいのはどれか。 2つ選べ。

(2006 年度午前問題 71 修正)

- 1. 死因順位は 2 位である。
2. 虚血性心疾患の年齢調整死亡率が増えている。
- 3. 脳血管疾患よりも入院受療率が低い。
4. 疾病登録事業で罹患率が把握されている。

〔問題 15〕 二次予防として有効性が認められているがん検診はどれか。

(2006 年度午前問題 72)

1. ピロリ菌抗体検査による胃がん検診
2. 超音波検査による乳がん検診
3. 細胞診による子宮体がん検診
- 4. 便潜血反応検査による大腸がん検診

〔問題 16〕 ある集団 1,000 人の体重を測定した結果、平均値 55 kg、標準偏差 5 kg で正規分布を示した。

正しいのはどれか。(2006 年度午前問題 73)

1. 中央値は平均値よりも大きい。
2. 55 kg から 65 kg の範囲におよそ 339 人いる。
3. 60 kg 以上の人はおよそ 49 人である。
- 4. 45 kg 以下の人はおよそ 23 人である。

〔問題 17〕 生命表で正しいのはどれか。(2006 年度午前問題 74)

- 1. 0 歳の平均余命が平均寿命である。
- 2. 我が国の 65 歳の平均余命は平成 10 年以降伸びていない。
- 3. 平均寿命は市町村別に算出できない。
- 4. がんで死亡する人が亡くなると平均寿命は 10 歳以上延びる。

〔問題 18〕 保健統計調査で正しいのはどれか。(2006 年度午前問題 75)

- 1. 国民生活基礎調査の大規模調査は 3 年ごとに実施される。
- 2. 医療施設調査は病院と診療所それぞれから 10% を無作為に抽出して行う。
- 3. 国民健康・栄養調査に血液検査は含まれない。
- 4. 患者調査は悉皆調査である。

次の文を読み〔問題 19〕、〔問題 20〕に答えよ。(2006 年度午後問題 25、26)
A 村と B 町が合併することになった。A 村、B 町の状況を表に示す。

	人口	65 歳以上 人口割合	病院数	診療所数	保健師数
A 村	1,500 人	32.8%	0	2	3 人
B 町	5,000 人	22.2%	1	5	2 人

〔問題 19〕 A 村では基本健康診査を集団方式で実施する際に、研究機関の協力を得て経年的にデータの蓄積を行ってきた。過去 20 年間の健康診査データおよび問診表をもとに運動習慣と脳卒中発生リスクとについて分析した。運動習慣の水準を、高、中、低の 3 群に分けてみると、男性では低群に対する相対危険は、中等群は 0.41、高群は 0.53 であった。女性では各群に差はみられなかった。

運動習慣についての解釈で正しいのはどれか。(2006 年度午後問題 25)

- 1. 男性では脳卒中の発生とは関連がない。
- 2. 男性では脳卒中発生リスクを低下させる。
- 3. 女性では運動の頻度が少ない。
- 4. 再調査が必要である。

〔問題 20〕 隣接する B 町では、基本健康診査を町内の各医療機関に委託して、個別方式で行っている。B 町でも A 村と同様に健康診査データおよび問診表を分析したが、運動習慣と脳卒中発生リスクとの関連があるという結果は得られなかった。

結果に影響を与えた可能性が最も高いのはどれか。(2006 年度午後問題 26)

- 1. A 村の人口が少ない。
- 2. B 町では高齢化が進行していない。
- 3. A 村と B 町の男女比に差がある。
- 4. 各医療機関の検査精度が異なる。

次の文を読み〔問題 21〕に答えよ。(2006 年度午後問題 28)

アジアの A 国で、原因不明の呼吸器疾患が流行している。潜伏期間は 1～2 週間で発熱、咳および痰を初発症状とし、重症の肺炎を起こすこともあり、ときとして致死的である。ホテルのエレベーターに同乗した者への感染が確認されているほか、病院内での医療従事者への感染も報告されているが、地域住民へのまん延は報告されていない。現時点で我が国での発症はない。

〔問題 21〕 この疾患の感染経路で最も可能性が高いと考えられるのはどれか。

(2006 年度午後問題 28)

1. 血液媒介感染
2. 飛沫感染
3. 飛沫核感染
4. 昆虫媒介感染

〔問題 22〕 疾病構造に影響を及ぼす要因でないのはどれか。(2007 年度午前問題 2)

1. 衛生状態の改善
2. 生活習慣の変化
3. 在宅ケアの推進
4. 人口構成の高齢化

〔問題 23〕 二国間の国際保健医療協力を行うのはどれか。(2007 年度午前問題 3)

1. 世界保健機関 (WHO)
2. 国際協力機構 (JICA)
3. 経済協力開発機構 (OECD)
4. 国際連合児童基金 (UNICEF)

〔問題 24〕 大気汚染防止法に規定されている特定粉じんはどれか。(2007 年度午前問題 4)

1. 黄 砂
2. 石綿 (アスベスト)
3. スパイクタイヤ粉じん
4. ディーゼル排気微粒子

〔問題 25〕 国民健康・栄養調査で正しいのはどれか。(2007 年度午前問題 16)

1. 食物摂取状況を調べる。
2. 医療に対する満足度を把握する。
3. 老人保健法に基づいて実施されている。
4. 国民健康保険の被保険者が対象者である。

[問題 26] 我が国でいわゆる公害病が公衆衛生上の問題となった時期はどれか。

(2007 年度午前問題 53)

1. 1920 年代から 1930 年代
2. 1940 年代から 1950 年代
3. 1960 年代から 1970 年代
4. 1980 年代以降

[問題 27] コホート調査はどれか。(2007 年度午前問題 59)

1. 都道府県別に肝臓癌の死亡率を調べて比較した。
2. 胃癌患者群と胃潰瘍患者群との飲酒習慣を比較した。
3. 喫煙習慣のある集団とない集団との脳卒中発生状況を経年的に追跡した。
4. 1 人当たりの牛乳消費量と大腿骨頸部骨折発生率との国際比較を行った。

[問題 28] 疫学研究における因果推論で正しいのはどれか。(2007 年度午前問題 60)

1. 特異性は因果推論に必須である。
2. 関連の一致性は因果推論を強める。
3. 統計学的に有意な相関は因果関係である。
4. 時間的關係性は因果推論の十分条件である。

[問題 29] 致命割合（致命率）で正しいのはどれか。(2007 年度午前問題 61)

1. 慢性疾患では計算できない。
2. 罹患した後の累積死亡割合である。
3. 算定には 1 年以上の観察期間が必要である。
4. 地域人口の中で単位観察期間に死亡する危険の大きさを示す。

[問題 30] 人口 1,000 人の A 村で 10 年間で死亡数は 20 人であった。

人年法による A 村の死亡率（10 万人年対）はどれか。(2007 年度午前問題 62)

1. 20 人
2. 100 人
3. 200 人
4. 1000 人

[問題 31] マッチングで正しいのはどれか。(2007 年度午前問題 65)

1. 後向き調査では用いない。
2. 層化解析の一種である。
3. 交絡因子の制御法である。
4. 年齢の影響は調整できない。

[問題 32] 大量喫煙者と非喫煙者の 5 年間の心疾患による死亡データを表に示す。
10 万人年対の寄与危険はどれか。(2007 年度午前問題 63)

	観察人年	死亡数(人)
大量喫煙者	20,000	200
非喫煙者	30,000	240

- 1. 1.2
- 2. 1.25
- 3. 40
- 4. 200

[問題 33] 症例対照調査研究の結果を表に示す。
オッズ比はどれか。(2007 年度午前問題 64)

	喫煙有り	喫煙無し
胃潰瘍	70	30
対照群	40	60

- 1. 0.3
- 2. 1.8
- 3. 2.0
- 4. 3.5

[問題 34] スクリーニングで敏感度が低い場合の問題点はどれか。(2007 年度午前問題 66)

- 1. 判定に時間がかかる。
- 2. 患者の見落としが多くなる。
- 3. 精密検査の対象者が増える。
- 4. 測定者によって結果に変動が起こる。

[問題 35] 高齢者が多く入院している病院で、セラチアによる敗血症が多発した。
疑われる感染経路はどれか。(2007 年度午前問題 67)

- 1. 患者給食
- 2. 屋上冷却塔
- 3. 蚊による刺咬
- 4. 点滴静脈内注射

[問題 36] 公害病とその原因物質との組合せで正しいのはどれか。(2007 年度午前問題 70)

- 1. 四日市喘息 ————— ダイオキシソ
- 2. カネミ油症 ————— ヒ素
- 3. 新潟水俣病 ————— 有機水銀
- 4. イタイイタイ病 ————— 鉛

〔問題 37〕 がんのリスクと食品との関連が実証されているのはどれか。

(2007 年度午前問題 68)

1. 多糖類は胃癌のリスクを低下させる。
2. 高脂肪食は乳癌のリスクを増加させる。
3. 食物繊維の摂取は大腸癌のリスクを増加させる。
4. コレステロール含有食品は肺癌のリスクを低下させる。

〔問題 38〕 塩分摂取量と収縮期血圧との「無相関の検定」をしたところ統計学的に有意でなかった。

正しいのはどれか。(2007 年度午前問題 71)

1. 塩分摂取量が多いと収縮期血圧が高くなる。
2. 塩分摂取量が多いと収縮期血圧が低くなる。
3. 塩分摂取量と収縮期血圧とは関係がない。
4. 塩分摂取量と収縮期血圧との関係の有無については何も言えない。

〔問題 39〕 統計グラフで正しいのはどれか。(2007 年度午前問題 72)

1. 回帰直線の傾きは相関係数と一致する。
2. パイ図は経時的変化を表す場合に適している。
3. ヒストグラムは度数分布を面積の大きさを表す。
4. 帯グラフは同一集団における頻度を対比する場合に用いる。

〔問題 40〕 平成 21 年（2009 年）の出生に関する統計で正しいのはどれか。

(2007 年度午前問題 73 修正)

1. 出生率（千人年対）は 12.9 である。
2. 合計特殊出生率が最も高いのは北海道である。
3. 母の年齢別出生率は 30～34 歳が最も高い。
4. 出生児の母の平均年齢は 26.4 歳である。

〔問題 41〕 死因を調査するのはどれか。(2007 年度午前問題 74)

1. 国勢調査
2. 人口動態調査
3. 医療施設調査
4. 国民生活基礎調査

〔問題 42〕 公衆衛生政策で最も古いのはどれか。(2008 年度午前問題 53)

1. 結核予防法の制定
2. 国民体力法の制定
3. 保健所法（旧法）の制定
4. 母子保健法の制定

次の文を読み〔問題 43〕、〔問題 44〕に答えよ。(2007 年度午後問題 25、27)

管内の A 病院より、3 日前に下痢のため入院した 8 歳女児の便から、サルモネラ・エンテリティディスが検出されたと保健所に電話があった。

〔問題 43〕保健所の対応で適切なのはどれか。(2007 年度午後問題 25)

1. 患児の自宅を消毒する。
2. 患児の喫食調査を実施する。
3. A 病院の検食の病原体検査を行う。
4. 患児を第 1 種感染症指定医療機関に移送する。

〔問題 44〕所内で対応を検討していると、B 病院と C 病院からもそれぞれ下痢のために入院中の児童の便からサルモネラ・エンテリティディスを検出したと連絡があったが、患児は別の小学校に通学しており、互いに接触はない。

疫学調査で優先度が高いのはどれか。(2007 年度午後問題 27)

1. 患児の共通の接触者を検索する。
2. 患児の同級生の検便を実施する。
3. 患児の家の食材購入場所を特定する。
4. 患児の学校の給食調理設備の細菌検査を行う。

次の文を読み〔問題 45〕、〔問題 46〕、〔問題 47〕に答えよ。(2007 年度午後問題 28-30)

A 市では心疾患の粗死亡率は全国値のおよそ 2 倍である。このため 65 歳以上の高齢者の生活習慣と高血圧症について疫学調査を実施することにした。

〔問題 45〕A 市立病院の受診者の中から高血圧症の患者を選び症例対照調査を行うことにした。

対照者の選び方で適切なのはどれか。(2007 年度午後問題 28)

1. ある町内会の健康な高齢者から無作為に選ぶ。
2. A 市立病院の受診者で糖尿病の患者から選ぶ。
3. 各症例と同姓で居住地、年齢が近い健康な人を選ぶ。
4. 基本健康診査で心電図が正常であった者の中から無作為に選ぶ。

〔問題 46〕面接調査で生活習慣の情報を収集することにした。

面接で考慮すべきバイアスはどれか。(2007 年度午後問題 29)

1. 選択バイアス
2. 診断バイアス
3. 精査バイアス
4. 思い出しバイアス

〔問題 47〕 現病歴での高血圧症の有無に対する 20 歳頃からの飲酒習慣の有無のオッズ比は 3、喫煙習慣の有無のオッズ比は 4 であった。

高血圧症についての結果の解釈で適切なものはどれか。(2007 年度午後問題 30)

1. 喫煙習慣をなくせば飲酒習慣によるリスクもなくすることができる。
- 2. 飲酒と喫煙の習慣は関係があり単独の影響を検討する解析が必要である。
3. 飲酒と喫煙の両方の習慣がある場合は両方ない場合に比べリスクは 7 倍になる。
4. 飲酒と喫煙の両方の習慣がある場合は両方ない場合に比べリスクは 12 倍になる。

〔問題 48〕 国際協力機構 (JICA) が行う国際保健医療協力はどれか。

正しいのを 2 つ選べ。(2008 年度午前問題 5 修正)

- 1. 保健医療分野の専門家派遣
2. 病院建設に対する資金の貸付け
3. 新型インフルエンザの抗ウイルス薬備蓄
- 4. 開発途上国からの保健医療分野の研修生の受入れ

〔問題 49〕 平成 22 年 (2010 年) の食中毒の病因物質で患者数が最も多いのはどれか。

(2008 年度午前問題 6)

1. ブドウ球菌
- 2. ノロウイルス
3. サルモネラ属菌
4. 腸管出血性大腸菌

〔問題 50〕 平成 22 年の我が国の自殺死亡で正しいのはどれか。 2 つ選べ。

(2008 年度午前問題 20 修正)

1. 男性よりも女性が高い。
2. 女性は全年齢を通して 20 歳代がピークである。
- 3. 男性の生産年齢では 50 歳代が高い。
- 4. 死亡数は約 3 万人である。

〔問題 51〕 我が国の平成 22 年 (2010 年) の HIV 感染者・エイズ患者の報告で正しいのはどれか。(2008 年度午前問題 28)

1. 感染地の 8 割以上が国外である。
2. エイズ患者の報告件数は平成 8 年以降減少傾向にある。
3. 感染経路は日本国籍男性では異性間の性的接触が最も多い。
- 4. 異性間の性的接触による感染は 15~24 歳で女性が男性を上回っている。

〔問題 52〕平成 22 年（2010 年）の我が国の医療施設数または医療従事者数で正しいのはどれか。2 つ選べ。（2008 年度午前問題 56 修正）

- 1. 就業看護師数は約 95 万人である。
- 2. 就業保健師数は約 4 万 5 千人である。
- 3. 就業助産師数は約 2 万人である。
- 4. 就業准看護師数は約 20 万人である。

〔問題 53〕疫学調査法で正しいのはどれか。（2008 年度午前問題 59）

- 1. 前向き調査は原因不明の疾患の発生要因の研究に適している。
- 2. 生態学的研究は個人を分析の対象とする。
- 3. 症例対照研究は介入研究の 1 つである。
- 4. コホート研究は希少疾患の研究に適している。

〔問題 54〕A 社では機械の洗浄に薬品 X を使用している。先日、A 社の B 工場（従業員数 1,000 人）で 60 人、C 工場（従業員数 850 人）で 46 人の皮膚炎患者が発生した。

薬品 X と皮膚炎の疫学的関係で正しいのはどれか。（2008 年度午前問題 60）

- 1. 薬品 X は皮膚炎の直接的な原因である。
- 2. 薬品 X と皮膚炎には相関関係がある。
- 3. 薬品 X と皮膚炎には因果関係はない。
- 4. 薬品 X と皮膚炎との関係は論じられない。

〔問題 55〕喫煙による肺がん発症のリスク比が 8 の場合の寄与危険割合はどれか。

（2008 年度午前問題 61）

- 1. 12.5%
- 2. 25.0%
- 3. 75.0%
- 4. 87.5%

〔問題 56〕原子力発電所の事故による放射能汚染の人体への影響について、事故後から継続的に調査する疫学の手法はどれか。（2008 年度午前問題 62）

- 1. 横断調査
- 2. 後ろ向き調査
- 3. 症例対照調査
- 4. 縦断調査

〔問題 57〕分析時にできる交絡要因の制御方法はどれか。（2008 年度午前問題 64）

- 1. 層化
- 2. 無作為抽出
- 3. 無作為割付
- 4. マッチング

〔問題 58〕 社員数 1 万人の A 社で職員の飲酒と肝機能に関する調査をするため、職員の約 1 割を標本として抽出することにした。

選択の偏りが最も小さいのはどれか。(2008 年度午前問題 63)

- 1. 誕生日が 10 月の者
- 2. 日本酒換算で 1 日 2 合以上の飲酒者
- 3. 会社の健康教室参加者
- 4. 年齢の若い社員順

〔問題 59〕 1,200 人を対象とした疾病 A のスクリーニングの結果と精密検査の結果とを表に示す。

敏感度はどれか。(2008 年度午前問題 65)

スクリーニング	精密検査所見	
	あり	なし
陽 性	20	180
陰 性	5	995

- 1. 10.0%
- 2. 80.0%
- 3. 84.7%
- 4. 99.5%

〔問題 60〕 感染症とその潜伏期の組合せで正しいのはどれか。(2008 年度午前問題 66)

- 1. 水 痘 ————— 10～20 日
- 2. AIDS ————— 8～12 週
- 3. 肺結核 ————— 4～8 週
- 4. インフルエンザ ——— 6～12 週

〔問題 61〕 感染症発生動向調査で正しいのはどれか。(2008 年度午前問題 67)

- 1. 医療法に基づいて行われる。
- 2. 1 類から 5 類までの疾患の発生が全数把握される。
- 3. 患者の診断を行った医療機関は市町村長に報告する。
- 4. 感染症発生情報は感染症週報として公開・提供される。

〔問題 62〕 ここ 10 年の脳血管疾患の動向で正しいのはどれか。

(2008 年度午前問題 68 修正)

- 1. 死亡率は増加している。
- 2. 平成 22 年の死因順位は第 2 位である。
- 3. 脳出血死亡数は脳梗塞死亡数よりも多い。
- 4. くも膜下出血の死亡率は横ばいで推移している。

〔問題 63〕 悉皆調査はどれか。(2008 年度午前問題 69)

- 1. 国勢調査
- 2. 患者調査
- 3. 国民生活基礎調査
- 4. 国民健康・栄養調査

〔問題 64〕 ある町の基本健康診査受診者の最高血圧の度数分布を表に示す。
低い方から第 3 四分位点はどの範囲に属するか。(2008 年度午前問題 70)

最高血圧(mmHg)	人数(人)
100 ~ 109	15
110 ~ 119	35
120 ~ 129	90
130 ~ 139	160
140 ~ 149	180
150 ~ 159	130
160 ~ 169	80
170 ~ 179	70
180 ~ 189	35
190 ~ 199	5
合計	800

- 1. 130 ~ 139
- 2. 140 ~ 149
- 3. 150 ~ 159
- 4. 160 ~ 169

〔問題 65〕 基本健康診査を受信した 100 人の年齢と HbA1c との関係について、2 つのデータを一度に示し両者の関連を表現する際に用いるのはどれか。(2008 年度午前問題 71)

- 1. 散布図
- 2. 棒グラフ
- 3. 円グラフ
- 4. 折れ線グラフ

〔問題 66〕 粗死亡率は上昇しているが年齢調整死亡率は低下している。
この理由で正しいのはどれか。(2008 年度午前問題 75)

- 1. 高齢者の増加
- 2. 感染症の流行
- 3. 乳児死亡の増加
- 4. がん検診受診率の低下

〔問題 67〕平成 21 年の我が国の乳幼児死亡で正しいのはどれか。

(2008 年度午前問題 72 修正)

1. 乳児死亡率（出生千対）は 1.0 以下である。
- 2. 乳児死亡の原因の第 1 位は「先天奇形、変形及び染色体異常」である。
3. ここ 10 年の平均寿命の延びに寄与しているのは 0～4 歳児の死亡率の改善が大きい。
4. ここ 10 年の乳児死亡率低下に寄与しているのは生後 1 月以降の死亡率の改善が大きい。

〔問題 68〕インターネットの普及が医療に関するコミュニケーションに与えた影響で誤っているのはどれか。(2008 年度午前問題 73)

1. 患者が様々な病気に関する情報を入手し易くなった。
2. 同病の患者同士がコミュニケーションを取り易くなった。
3. 医療機関の名称、所在地、診療科名等の検索が容易になった。
- 4. 電子メールで症状を伝えれば処方せんの発行が可能になった。

〔問題 69〕基本健康診査のデータベースの取り扱いで適切なのはどれか。

(2008 年度午前問題 74)

1. データの個人名はイニシャルで保存する。
- 2. データへのアクセスはパスワードを設定する。
3. データのバックアップは関係者がそれぞれ保管する。
4. データを持ち帰り自宅で作業する。

次の文を読み〔問題 70〕、〔問題 71〕、〔問題 72〕に答えよ。(2008 年度午後問題 25-27)

A 市に勤務する保健師は、在宅高齢者に対する定期的な家庭訪問の効果を確かめるための介入研究を計画した。A 市に在住する 75 歳以上の在宅高齢者に対して研究協力者を公募し、介入群と対照群に割り付け、対照群には通常の保健サービスを提供するのに対し、介入群には通常の保健サービスに加えて年 6 回の家庭訪問を行うこととした。

〔問題 70〕この研究計画の段階で考慮の必要がないのはどれか。(2008 年度午後問題 25)

1. 無作為化
- 2. マスク化（盲検法）
3. マッチング
4. 標本サイズ

〔問題 71〕 以下のデータを収集し分析を行った。

介入群と対照群との有意差検定で全項目に共通した検定方法はどれか。

(2008 年度午後問題 26)

項 目	介入群 (n=280)	対照群 (n=290)	p 値
特別養護老人ホームへの入所者数(実人数)	40	40	0.904
死亡者数	60	80	0.098
訪問看護を利用した実人数	120	110	0.233
訪問介護を利用した実人数	50	30	0.011

- 1. χ^2 (カイ 2 乗) 検定
- 2. F 検定
- 3. t 検定
- 4. U 検定

〔問題 72〕 問題 71 の表で保健師の家庭訪問が最も影響を及ぼしたと判断できるのはどれか。(2008 年度午後問題 27)

- 1. 特別養護老人ホームへの入所者数
- 2. 死亡者数
- 3. 訪問看護を利用した実人数
- 4. 訪問介護を利用した実人数

次の文を読み〔問題 73〕、〔問題 74〕、〔問題 75〕に答えよ。(2008 年度午後問題 28-30)

3 月 3 日午前 10 時ころ、A 町の医師から「本日、B 中学校の生徒 5 人が腹痛と下痢とで当院を受診した。他の医療機関を受診している生徒もいるようだ」と保健所に連絡があった。B 中学校は生徒数 200 人で、自校式給食を行っている。

〔問題 73〕 保健所の最初の対応で最も優先するのはどれか。(2008 年度午後問題 28)

- 1. B 中学校に生徒の腹痛と下痢の発症状況を問い合わせる。
- 2. A 町の教育委員会に生徒の中学校別の欠席状況を問い合わせる。
- 3. A 町の保健センターに腹痛と下痢で問い合わせがないか確認する。
- 4. 保健所管内の医療機関に B 中学校の生徒の受診状況を問い合わせる。

〔問題 74〕 3 月 3 日午後 3 時現在の発症者調査から、主症状は腹痛と下痢で、発症日と発症者数は表に示すとおりであった。

次を取るべき対応で最も適切なものはどれか。(2008 年度午後問題 29)

発 症 日	発症者(人)
3 月 1 日	2
3 月 2 日	29
3 月 3 日	55

- 1. 学校給食施設の使用を中止する。
- 2. 学校給食の原材料の細菌検査をする。
- 3. 発症者の家庭での食事内容を調査する。
- 4. 生徒の家族に発症者がいないかを調査する。

〔問題 75〕 生徒の喫食状況を調査しマスターテーブルを作った。

原因食品として最も疑われるのはどれか。(2008 年度午後問題 30)

食品	発症者(人)		非発症者(人)	
	食べた	食べない	食べた	食べない
A	80	10	90	20
B	60	30	70	40
C	80	10	60	50
D	50	40	70	40

- 1. A
- 2. B
- 3. C
- 4. D

〔問題 76〕 喫煙者集団 1 万人と非喫煙者集団 1 万人とを 5 年間追跡調査した。肺癌の罹患率と平均追跡年数の結果を表に示す。

集 団	肺癌罹患率(人)	平均追跡年数(年)
喫 煙 者	50	4.0
非喫煙者	10	4.5

喫煙者の肺癌罹患に関するレイト比で最も近いのはどれか。(2009 年度午前問題 30)

- 1. 1.1
- 2. 4.4
- 3. 5.0
- 4. 5.6

[問題 77] 2 つの事象の因果関係を疫学的に推論するのに必要な条件を満たすのはどれか。
(2009 年度午前問題 29)

- 1. 都市と農村とで相関の大きさは同じだった。
- 2. 男性の集団のみで大きな関連が認められた。
- 3. 単相関係数は 0.1 で 1 %水準で有意であった。
- 4. 夏には強い相関がみられたが冬には相関が弱くなった。

[問題 78] 情報バイアスが生じる可能性が高いのはどれか。(2009 年度午前問題 31)

- 1. 調査対象者を雑誌で公募した。
- 2. 症例対照調査で肺癌患者に喫煙歴を詳細に尋ねた。
- 3. 調査対象者をくじ引きで 2 グループに分けて比較した。
- 4. 症例対照調査で対照群を大学病院の外来患者から選んだ。

[問題 79] スクリーニング検査で正しいのはどれか。(2009 年度午前問題 32)

- 1. 陽性判定の基準値は固定されている。
- 2. 侵襲性の低いものでなければならない。
- 3. 異常と判定されれば直ちに治療を開始する。
- 4. 臨床的徴候の出現から発病までが短期間の疾患に適している。

[問題 80] 25 人の体重 (kg) のデータを表に示す。

39
42 44
47 48
50 51 54 54
56 57 57 58
60 61 61 62 63 64
66 67 67 69
70 73

中央値はどれか。(2009 年度午前問題 34)

- 1. 57
- 2. 58
- 3. 59
- 4. 60

〔問題 81〕平成 20 年（2008 年）患者調査における外来受療率で正しいのはどれか。

（2009 年度午前問題 35 修正）

1. 1～4 歳が最も高い。
- 2. 10 万人当たり約 5,300 人である。
3. 50～79 歳では男性が女性よりも高い。
4. 傷病別分類では「精神および行動の障害」が最も高い。

〔問題 82〕疫学研究に用いる調査票の作成とデータ入力で適切なのはどれか。

（2009 年度午前問題 36）

1. 質的な質問項目は調査票に含めない。
2. 質問項目の回答には自由記載欄は設けない。
- 3. 1 つの調査票を複数人で重複して入力しデータの照合を行う。
4. 解析の有無に関わらず、できるだけ多くの質問項目を調査票に入れる。

〔問題 83〕寄与危険で正しいのはどれか。（2009 年度午前問題 37）

1. コホート調査では間接的に算出する。
2. オッズ比を近似値とすることができる。
3. 症例対照調査では四分表（ 2×2 表）で算出する。
- 4. 曝露を除くと曝露群の罹患率がどの程度減少するかを示す。
5. 非曝露群の罹患率と比べ曝露群の罹患率が何倍になるかを示す。

〔問題 84〕公衆衛生活動で正しいのはどれか。2 つ選べ。（2009 年度午前問題 38）

1. 経済効率を優先する。
2. 感染症対策は含まれない。
- 3. 地域住民の健康レベルの向上を目指す。
4. 主に個人の努力によって問題解決を図る。
- 5. 日本国憲法に基づき国の義務とされている。

〔問題 85〕定期予防接種の対象となっている疾患はどれか。2 つ選べ。

（2009 年度午前問題 39）

1. 水痘
- 2. 破傷風
3. 狂犬病
- 4. ポリオ
5. B 型肝炎

次の文を読み 86～88 の問いに答えよ。(2009 年度午前問題 50-52)

A 保健所。管内の B 市には小学校が 4 校あり、給食は市の給食センターが一括で調理し、各校に配送している。市内の病院から 5 日前に血便のため入院した 8 歳の女児の便から腸管出血性大腸菌 O157 を検出したと届出があった。

〔問題 86〕保健所の対応で適切なのはどれか。(2009 年度午前問題 50)

1. 届出病院の検食の細菌検査を行う。
2. 感染症の診査に関する協議会を開催する。
3. 患児を第二種感染症指定病床へ移送する。
4. 患児の家族の健康診断（細菌検査）を行う。

〔問題 86〕翌日、管内の別の 2 病院からそれぞれ 7 歳の男児と 11 歳の女児とに血便を認め、腸管出血性大腸菌 O157 を検出した旨の届出があった。

これらの患児の発生について、保健所から情報提供する機関で優先するのはどれか。

(2009 年度午前問題 51)

1. マスコミ
2. 管内の全小学校
3. 管内の全医療機関
4. 管内市町村保健センター

〔問題 87〕患児 3 名はそれぞれ別の小学校に通っており、患児同士の接触はないことが判明した。これまでのところこれらの患児 3 名以外に届出はない。

対応で優先度が高いのはどれか。(2009 年度午前問題 52)

1. 患児の喫食調査を行う。
2. 患児の同級生の健康診断（細菌検査）を行う。
3. 給食センターに保存してある検食の細菌検査を行う。
4. 給食センターの給食従事者の健康診断（細菌検査）を行う。

次の文を読み 88～90 の問いに答えよ。(2009 年度午前問題 53-55)

運動が骨密度に与える影響を調査するため、5 年間の追跡調査を計画した。参加者を県内の主な企業を通じて募集し、運動指導群と対照群とに割り付けた。参加者は事前に連絡先を登録し、年 1 回ニュースレターを送付した。運動指導群はそれに加えて運動指導を実施することとした。

〔問題 88〕500 名の応募者があり、ベースラインの骨密度の測定を行った。

調査対象者の割り付けに際して行うのはどれか。(2009 年度午前問題 53)

1. 層別化
2. 無作為化
3. 多変量解析
4. 無作為抽出

〔問題 89〕 調査開始 1 年後に企業を通じて健康状態に関する調査票を送付したところ、1 割が該当者不在で戻ってきた。

対応で最も適切なのはどれか。(2009 年度午前問題 54)

1. 調査対象者から除く。
2. 勤務先の人事部に問い合わせる。
- 3. 事前に登録された連絡先に問い合わせる。
4. 該当者不在で戻ってきたものは対照群として扱う。

〔問題 90〕 ベースライン調査では対照群と運動指導群とで骨密度の平均値に差はなかった。5 年後、対照群と運動指導群とで骨密度の平均値を求めたところ、対照群 82.3%YAM、運動指導群 85.4%YAM であった。t 検定を行ったところ $p=0.09$ であった。

有意水準 5% で結果を解釈した場合、適切なのはどれか。(2009 年度午前問題 55)

1. 2 群の母平均値は等しい。
2. 2 群の母平均値の差は十分に大きい。
3. 運動指導は骨密度を増加させるといえる。
- 4. 運動指導と骨密度との関係は論じられない。

〔問題 91〕 我が国の政府開発援助 (ODA) で二国間協力を担当しているのはどれか。

(2009 年度午後問題 2)

- 1. 国際協力機構 (JICA)
2. 世界保健機関 (WHO)
3. 国境なき医師団 (MSF)
4. 国連児童基金 (UNICEF)

〔問題 92〕 平成 22 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査で、小学校におけるいじめの内容の第 1 位はどれか。(2009 年度午後問題 18 修正)

1. 仲間はずれ、集団による無視をされる。23.0%
2. パソコンや携帯電話等で誹謗中傷や嫌なことをされる。0.7%
- 3. 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。65.8%
4. 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。22.2%
5. 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。7.0%

〔問題 93〕 平成 20 年度の 65 歳以上の医療費で正しいのはどれか。

(2009 年度午後問題 23 修正)

- 1. 国民医療費総額の約 5 割を占める。
2. 1 人当たりでは 65 歳未満の約 2 倍である。
3. 傷病別分類では「呼吸器系の疾患」が最も多い。
4. 入院と入院外とでは入院外の一般診療医療費が多い。

〔問題 94〕 分析疫学はどれか。(2009 年度午後問題 26)

1. 断面調査で喫煙習慣と飲酒習慣との関係を検討した。
2. 食中毒発生状況について季節変動の関係を検討した。
- 3. 縦断調査で喫煙習慣と胃癌罹患率との関係を検討した。
4. 脳血管疾患の死亡率について都道府県ごとの差異を検討した。

〔問題 95〕 女性 1,000 人を 5 年間追跡調査したところ、50 人が子宮癌になり、そのうち 20 人が死亡した。

子宮癌の累積罹患割合（累積罹患率）で正しいのはどれか。(2009 年度午後問題 27)

1. 0.4%
2. 1%
3. 2%
- 4. 5%

〔問題 96〕 市内の中学校 10 校を無作為に 2 群に分け、一方の生徒に肥満予防のパンフレット配布に加え肥満予防教育の授業を実施し、他方の生徒に肥満予防のパンフレット配布のみを行った。実施の前後に肥満予防行動について意識調査を行った。

この調査方法はどれか。(2009 年度午後問題 28)

- 1. 介入調査
2. 横断的調査
3. 生態学的調査
4. 症例対照調査

〔問題 97〕 19 世紀にジョン・スノウがロンドンのコレラ流行の時に、ブロード・ストリートの水道ポンプの取っ手を外して使用不能にしたのは、コレラの予防対策のどれか。

(2009 年度午後問題 30)

1. 隔離対策
- 2. 感染経路対策
3. 特異的感受性対策
4. 非特異的感受性対策

〔問題 98〕 疾患と好発群の組合せで正しいのはどれか。(2009 年度午後問題 31)

1. 川崎病 ————— 10 歳代の男性
2. 筋萎縮性側索硬化症 ——— 20 歳代の女性
- 3. 乳 癌 ————— 40 歳代の女性
4. 間接リウマチ ————— 60 歳代の男性

〔問題 99〕平成 22 年度の国民生活基礎調査における全世帯に占める世帯構造の割合で正しいのはどれか。(2009 年度午後問題 32 修正)

1. 核家族世帯は約 8 割である。
2. 三世帯世帯は約 3 割である。
3. 共に 65 歳以上の夫婦のみの世帯は約 2 割である。
- 4. 65 歳以上の単独世帯は約 2 割である。

〔問題 98〕調査内容と調査名の組合せで正しいのはどれか。(2009 年度午後問題 33)

1. 有訴者率 ————— 患者調査
2. がん検診受診者数 ————— 国民健康・栄養調査
- 3. 肥満傾向児の出現率 ————— 学校保健統計調査
4. サルモネラ菌による食中毒患者数 ————— 感染症発生動向調査

〔問題 99〕個人情報保護に関する法律で正しいのはどれか。(2010 年度午前問題 19)

1. 死亡した個人も対象となる。
2. 本人からのデータの修正依頼には応じる必要はない。
3. 診療報酬請求書(レセプト)の内容は個人情報に該当しない。
- 4. 本人が求めた場合にはデータを遅滞なく開示しなければならない。

〔問題 100〕因果関係を推論する上で相対危険やオッズ比の大きさが指標となるのはどれか。(2010 年度午前問題 21)

1. 関連の時間性
2. 関連の一致性
- 3. 関連の強固性
4. 関連の整合性

〔問題 101〕市の全住民を対象とした横断調査で喘息の患者は 7%であった。

この数値が示すのはどれか。(2010 年度午前問題 22)

- 1. 有病率
2. 罹患率
3. 相対危険
4. 寄与危険割合

〔問題 102〕コホート内症例対照調査の対照群選定で適切なのはどれか。

(2010 年度午前問題 23)

- 1. 観察開始時の全体から選ぶ。
2. コホート集団以外から選ぶ。
3. 観察開始時の曝露群から選ぶ。
4. 観察開始時の非曝露群から選ぶ。

[問題 103] 平成 21 年（2009 年）以降の心疾患による死亡の動向で正しいのはどれか。
 (2010 年度午前問題 24)

- 1. 全死亡数の 40%を占めている。
- 2. 死亡率が大きく減少した年がある。
- 3. 死因分類別では虚血性心疾患が最も多い。
- 4. 心疾患による死亡には高血圧性心疾患による死亡も含まれる。

[問題 104] 市におけるある疾病の罹患率の調査をするために、20 歳未満の群と 20 歳以上の群とに分け、それをさらに男女別に分け、各群の 10%を抽出した。

この標本の抽出方法はどれか。(2010 年度午前問題 25)

- 1. 単純無作為抽出
- 2. 層化抽出
- 3. 系統抽出
- 4. 多段抽出

[問題 105] 保健統計と調査項目の組合せで正しいのはどれか。(2010 年度午前問題 26)

- 1. 患者調査 ————— 介護老人福祉施設での肺炎患者数
- 2. 国民生活基礎調査 ————— 有訴者数
- 3. 感染症発生動向調査 ————— ヒトパピローマウイルスの感染者数
- 4. 国民健康・栄養調査 ————— 輸入食品の摂取量

[問題 106] ある疾病に関するスクリーニング検査の結果を表に示す。

		検査結果	
		陽性	陰性
疾 病	有	48	12
	無	15	125

この検査の敏感度はどれか。(2010 年度午前問題 29)

- 1. 0.72
- 2. 0.76
- 3. 0.80
- 4. 0.89
- 5. 0.91

〔問題 107〕 市町村に勤務する保健師に対して守秘義務を規定している法律はどれか。
2つ選べ。 (2010 年度午前問題 30)

- 1. 刑 法
- 2. 地域保健法
- 3. 地方公務員法
- 4. 保健師助産師看護師法
- 5. 個人情報保護に関する法律

〔問題 108〕 我が国の平成 22 年 1 年間におけるヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染者と後天性免疫不全症候群 (AIDS) 患者の発生動向について正しいのはどれか。2つ選べ。

(2010 年度午前問題 39 修正)

- 1. HIV 感染者数は 3,000 人を超えた。
- 2. AIDS 患者の年齢階級別報告数は 20 歳代が最も多い。
- 3. HIV 感染者の感染経路は同性間性的接触が最も多い。
- 4. HIV 感染者の推定感染地域は約 6 割が日本国内である。
- 5. AIDS 患者数は東京都を含む関東甲信越ブロックが最も多い。

〔問題 109〕 感染症発生動向調査のうち全数把握対象疾患はどれか。2つ選べ。

(2010 年度午前問題 40)

- 1. 麻 疹
- 2. 水 痘
- 3. 急性灰白髄炎
- 4. 感染性胃腸炎
- 5. インフルエンザ

次の文を読み 110、111 の問いに答えよ。(2010 年度午前問題 50、51)

特別養護老人ホームの看護師から「昨日の朝から入所者と職員とが嘔吐と下痢を発症している」と保健所に相談があった。発症者の内訳は入所者が 80 名のうち 9 名、職員が 25 名のうち 4 名である。この施設はデイサービスを別棟に併設しているが、デイサービス利用者に症状のある者はいない。2 週間前にデイサービス棟でピアノコンサートがあり、各フロアから数名の入所者が参加した。職員は各フロアで固定しており、デイサービス棟との行き来はない。

〔問題 110〕 保健師と食品衛生監視員とが訪問し、症状がある者の発症経過を調査した。調査項目で優先度が高いのはどれか。(2010 年度午前問題 50)

- 1. 既往歴
- 2. 喫食状況
- 3. 面会家族の交流状況
- 4. ピアノコンサートへの参加状況

〔問題 111〕 訪問調査の結果、施設内の給食施設は1か所で、入所者と職員とに食事を提供していることがわかった。入所スペースは1階から3階で、発症者は2階フロアのみであった。

施設への指導内容で適切なのはどれか。2つ選べ。(2010年度午前問題 51)

1. 給食の中止
2. 面会者全員の検便
3. デイサービスの休止
- 4. 職員の手洗いの徹底
- 5. 汚物・嘔吐物の処理の方法

次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。(2010年度午前問題 53-55)

A市では大腸がん検診の評価のために、B市のデータと比較した。A市とB市の大腸がん検診の実施状況を表に示す。

(単位:人)

項目 市	対象者	対象者の 平均年齢	検診 受診者	左記のう ち精密検 査が必要 な者	左記のう ち精密検 査受診者	左記のう ち精密検 査で大腸 癌が発見 された者	検診では 異常なし で、大腸 癌が発見 された者
A市	25,000	54	12,000	1,000	600	20	3
B市	20,000	62	10,000	1,200	500	30	1

〔問題 112〕 B市と比べたA市の状況で正しいのはどれか。(2010年度午前問題 53)

1. がん発見率が高い。
2. 陽性反応適中度が高い。
- 3. 偽陽性者の割合が高い。
4. 偽陰性者の割合が低い。

〔問題 113〕 両市の大腸癌の発見率の違いの原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

(2010年度午前問題 54)

- 1. 受診者の年齢
2. 地域の平均余命
- 3. 精密検査受診率
4. 受診者の栄養状態
5. 検診受診者で入院している者の人数

[問題 114] A市では精密検査の未受診者を減少させる取り組みを検討した。

取り組みの内容で適切なのはどれか。2つ選べ。(2010年度午前問題 55)

- 1. 一次検診の結果を迅速に受診者に知らせる。
- 2. 一次検診時に精密検査の重要性を説明する。
- 3. 精密検査が必要な者に対して末期がんの悲惨さを伝える。
- 4. 精密検査が必要な者に便潜血測定簡易キットを郵送する。
- 5. 一次検診の結果を地域の保健推進員に報告し、受診勧奨を依頼する。

[問題 115] 我が国でこれまでに制定された公衆衛生関係法規を示す。

- a 地域保健法
- b 結核予防法
- c 健康増進法
- d 公害対策基本法

制定された順序が正しいのはどれか。(2010年度午後問題 14)

- 1. b → d → a → c
- 2. b → d → c → a
- 3. d → b → a → c
- 4. d → b → c → a

[問題 116] 累積罹患率の分母はどれか。(2010年度午後問題 16)

- 1. 新たに罹患した患者数
- 2. 観察開始時点での危険曝露人口の数
- 3. 危険曝露人口一人一人の観察期間の総和
- 4. 観察開始時点と終了時点の危険曝露人口の人数の合計

[問題 117] ある集団の喫煙者 1,000 人のうち肺癌になったのは 50 人、非喫煙者 2,000 人のうち肺癌になったのは 40 人であった。

人口千対の罹患率から求めた喫煙によって肺癌になる寄与危険はどれか。

(2010年度午後問題 17)

- 1. 1.25
- 2. 2.50
- 3. 10
- 4. 30

〔問題 118〕市全体のクラミジア感染率を推計するため、市内のある大学の学生から希望者を募り、抗体検査を実施した。

この方法で最も大きなバイアスはどれか。(2010 年度午後問題 18)

- 1. 選択バイアス
- 2. 交絡バイアス
- 3. リコールバイアス
- 4. インフォメーションバイアス

〔問題 119〕検定の結果、有意差（有意確率 0.05）が認められなかった。

帰無仮説の解釈で正しいのはどれか。(2010 年度午後問題 19)

- 1. 帰無仮説は正しい。
- 2. 帰無仮説は誤りである。
- 3. 帰無仮説は 5%の確率で起こり得る。
- 4. 帰無仮説は正しいかどうか分からない。

〔問題 120〕平成 20 年患者調査による傷病分類別にみた受療率を示す。

(人口 10 万対)

傷病分類	入 院		外 来	
	男	女	男	女
A	240	232	163	200
B	193	244	625	773
C	144	106	161	180
D	60	48	866	1,086

Aはどれか。(2010 年度午後問題 20 修正)

- 1. 新生物 C
- 2. 循環器系の疾患 B
- 3. 消化器系の疾患 D
- 4. 精神及び行動の障害 A

〔問題 121〕エビデンスレベルが最も高い研究デザインはどれか。(2010 年度午後問題 21)

- 1. 横断研究
- 2. 症例対照研究
- 3. コホート研究
- 4. 無作為化比較試験

[問題 122] 集団に対して、ある物質の血中濃度を測定した結果を示す。

測定値	3,000	250	200	150	120	100
人数	1	2	3	5	7	2

この集団を代表するのに適した数値はどれか。(2010 年度午後問題 23)

- 1. 300
- 2. 250
- 3. 200
- 4. 150
- 5. 100

[問題 123] 国際協力機構 (JICA) の主たる活動はどれか。2つ選べ。

(2010 年度午後問題 24)

- 1. 技術援助
- 2. 食糧援助
- 3. 多国間協力
- 4. 青年海外協力隊の派遣
- 5. 国境なき医師団の派遣

[問題 124] 病原微生物が関与する疾患はどれか。2つ選べ。

(2010 年度午後問題 35)

- 1. 胃潰瘍
- 2. 膵臓癌
- 3. 大腸癌
- 4. 子宮体癌
- 5. 成人 T 細胞白血病 (ATL)

次の文を読み 125～127 の問いに答えよ。(2010 年度午後問題 48-50)

飲酒の肺がん罹患に及ぼす影響を調べるために症例対照調査を実施した。肺がん患者 100 人の中で飲酒をしていた者は 40 人であり、対照群 100 人の中で飲酒をしていた者は 20 人であった。

[問題 125] オッズ比はどれか。(2010 年度午後問題 48)

- 1. 20.0
- 2. 2.7
- 3. 2.0
- 4. 0.2

〔問題 126〕 肺がんは喫煙とも関連があるため、飲酒と肺がんの結果を喫煙群と非喫煙群に分けて、再度オッズ比を計算した。その結果、いずれもオッズ比は 1.0 となった。

この結果の解釈として適切なのはどれか。(2010 年度午後問題 49)

- 1. 飲酒と喫煙とは関連がある。
- 2. 飲酒と肺がんとは関連がある。
- 3. 喫煙と肺がんとは関連がない。
- 4. 喫煙以外の要因を検討する必要がある。

〔問題 127〕 飲酒と肺がんとの関係を調べるために、喫煙群と非喫煙群とに分けて調べた方法はどれか。(2010 年度午後問題 50)

- 1. 制限
- 2. 層化
- 3. 無作為化
- 4. マッチング

〔問題 128〕 平成 21 年の日本における高齢者（65 歳以上）の傾向で正しいのはどれか。

(2011 年度午前問題 2 修正)

- 1. 悪性新生物が死因の第 1 位である。
- 2. 通院者率は人口千人当たり 500 以下である。
- 3. 自殺死亡率は 70 歳代の方が 80 歳代よりも高い。
- 4. 健康上の問題で日常生活に影響のある者の率は人口千人当たり約 500 である。

〔問題 129〕 次の計算式で求められるのはどれか。

〈ある期間のある疾病の新規発症者数〉 ÷ 〈同一期間の対象集団の観察人年〉

(2011 年度午前問題 21)

- 1. 罹患率
- 2. 有病率
- 3. 受療率
- 4. 累積罹患率

〔問題 130〕 介入研究として正しいのはどれか。(2011 年度午前問題 22)

- 1. 発生頻度の低い疾患に適用可能である。
- 2. 仮説設定のために用いられることが多い。
- 3. 介入と結果との時間的關係が明確である。
- 4. 複数の曝露要因の影響を検討することはできない。

〔問題 131〕 がんと危険因子の組合せで正しいのはどれか。(2011 年度午前問題 24)

- 1. 喉頭癌 ————— 喫 煙
- 2. 甲状腺癌 ————— 紫外線
- 3. 肺 癌 ————— 過度の飲酒
- 4. 大腸癌 ————— ヘリコバクターピロリ

〔問題 132〕 健康診査受診者を対象に、肥満の予防方法の理解度について 5 項目のテストを実施した。テストの合計得点を求めた後に理解できている群とできていない群に分類した。

健康教室参加の有無との関係を調べるのに使用するのはどれか。

(2011 年度午前問題 25)

- 1. 相関図
- 2. 回帰直線
- 3. クロス表
- 4. 平均値の棒グラフ

〔問題 133〕 日本において 50 年前に比較して増加しているのはどれか。

(2011 年度午前問題 26)

- 1. 結核死亡率
- 2. 脳血管疾患死亡率
- 3. 心疾患年齢調整死亡率
- 4. 大腸悪性新生物年齢調整死亡率
- 5. 子宮悪性新生物年齢調整死亡率

〔問題 134〕 人口 10 万人当たりの年間の肺がん死亡率が、喫煙者では 100、非喫煙者では 20、集団全体では 50 であった。

人口寄与危険割合はどれか。(2011 年度午前問題 30)

- 1. 30%
- 2. 40%
- 3. 50%
- 4. 60%
- 5. 80%

〔問題 135〕 特定健康診査時と 1 年後の特定健康診査時の体重変化量について、その間に行われた特定保健指導実施群と非実施群との間で平均値の差を検定したい。

用いる検定はどれか。(2011 年度午前問題 31 修正)

- 1. F 検定
- 2. t 検定
- 3. χ^2 検定
- 4. フィッシャー検定

[問題 136] 感染症対策に関する現行法はどれか。2つ選べ。

(2011 年度午前問題 36)

1. 結核予防法
2. 予防接種法
3. 伝染病予防法
4. 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律
5. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

[問題 137] スクリーニング検査で正しいのはどれか。2つ選べ。

(2011 年度午前問題 39)

1. 疾病の一次予防として行われる
2. 多疾患を対象とするものをマススクリーニングという。
3. 偽陰性が多くても、偽陽性が少ない検査が適している。
4. 早期発見した場合、治療法が存在する疾患を対象とする。
5. スクリーニング陽性者に対して診断確定する方法がある疾患を対象とする。

[問題 138] 感染症発生動向調査で正しいのはどれか。2つ選べ。

(2011 年度午前問題 40)

1. 根拠法令は地域保健法である。
2. 集計結果は市町村ごとに発表される。
3. 性器クラミジア感染症は全数把握の対象である。
4. 医療機関から保健所に患者情報の提供が行われる。
5. 鳥インフルエンザ (H5N1) は全数把握の対象である。

次の文を読み 139～141 の問いに答えよ。(2011 年度午前問題 53-55)

新たにがんのスクリーニング法が開発され、市では住民検診で利用できるか検討することになった。市内のA病院でがん患者 100 人と健康な人 100 人を対象に調査を行い、検査陽性とがん罹患との関連が明らかになった。市と地域の医療機関は協力体制がとれており、これまでのがん検診では一次検診と精密検査の実施体制が確立されている。

[問題 139] スクリーニング検査法評価の指標の中で、A病院で行った調査の結果と比べて、住民 200 人を対象に調べた場合に結果が低くなる可能性があるのはどれか。

(2011 年度午前問題 53)

1. 敏感度
2. 特異度
3. 陽性反応的中度
4. 陰性反応的中度

〔問題 140〕新しいスクリーニング法を住民に試行して、評価することにした。検査陽性者は、スクリーニング検査1年後まで追跡をして全員のがんの罹患状況を確認することにし、検査陰性者のがんの罹患状況は、地域がん登録を照会して確認することにした。検査陽性者と陰性者との全員を1年間追跡したときの結果を真の値とする。

真の値と試行の結果をそれぞれに比べて、その差が最も大きくなる可能性があるのはどれか。(2011年度午前問題 54)

- 1. 敏感度
- 2. 特異度
- 3. 陽性反応的中度
- 4. 陰性反応的中度

〔問題 141〕住民を対象にした試行の結果、スクリーニング検査法の精度がよいことが確認できた。このスクリーニング検査法を用いて住民検診を実施することにした。

一次検診と精密検査を委託する市内の医療機関に協力を依頼する内容で優先度が高いのはどれか。(2011年度午前問題 55)

- 1. 要精検者に受診を勧める。
- 2. 検査陰性者をフォローする。
- 3. 一次検診の広報活動を企画する。
- 4. 各医療機関の要精検率を一定にする。

〔問題 142〕国が行う国際協力のうち二国間協力はどれか。(2011年度午後問題 2)

- 1. 国連世界食糧計画 (WFP) に拠出金を出す。
- 2. 国際貿易機関 (WTO) に参加して貿易に関する協定を結ぶ。
- 3. 日本国際協力銀行 (JBIC) を通じて円借款で病院を建設する。
- 4. 世界保健機構 (WHO) の西太平洋地域事務局の活動に参加する。

〔問題 143〕平成 19 年の国民生活基礎調査において介護が必要になった原因で最も多いのはどれか。(2011年度午後問題 6 修正)

- 1. 認知症 14.0%
- 2. 転倒・骨折 9.3%
- 3. 脳血管疾患 23.3%
- 4. 高齢による衰弱 13.6%
- 5. 関節疾患 12.2%

〔問題 144〕平成 20 年の診療種類別国民医療費で正しいのはどれか。

(2011年度午後問題 18 修正)

- 1. 一般診療所医療費は病院医療費を上回る。
- 2. 薬局調剤医療費は全体の 10% を上回る。
- 3. 訪問看護医療費は全体の 1% を上回る。
- 4. 入院医療費は入院外医療費を上回る。

〔問題 145〕 ある時点における世界各国の一人当たり食塩摂取量と高血圧症有病率との関係を図示し、相関係数を求めた。

この研究方法はどれか。(2011 年度午後問題 21)

1. 横断研究
2. 生態学的研究
3. コホート研究
4. 症例対照研究

〔問題 146〕 気管支喘息の有病率の地域比較調査を行ったところ、A 地区では問診で判定し、B 地区では呼吸機能検査で判定していたことが分かった。

疫学調査法におけるこのような問題点を何というか。(2011 年度午後問題 22)

1. 交 絡
2. 偶然誤差
3. 情報の偏り
4. 選択の偏り

〔問題 147〕 スクリーニングに用いられる検査方法の信頼性または妥当性で正しいのはどれか。(2011 年度午後問題 23)

1. 系統誤差が小さければ妥当性が高い。
2. データ分布のばらつきの大きい検査方法は信頼性が高い。
3. 同じ標本について反復した測定値がほぼ一定であるときは、妥当性が高い。
4. 同じ目的で使用される別の検査方法との相関が高いときは、信頼性が高い。

〔問題 148〕 平成 20 年の日本の脳血管疾患の説明で正しいのはどれか。

(2011 年度午後問題 24)

1. 死因順位は 2 位である。
2. 通院者数の中で最も多い。
3. 入院による受療率が最も多い。
4. くも膜下出血による死亡が最も多い。

〔問題 149〕 疫学的因果関係について正しいのはどれか。(2011 年度午後問題 30)

1. 関連の特異性は必須の条件である。
2. 相対危険度が高いことは関連の強固性を示す。
3. 有意な関連があれば因果関係があると判断する。
4. 関連の一致性とは、動物実験で同様の結果となることを指す。
5. 関連の時間性とは、曝露から発病までの時間が短いことである。

[問題 150] デジタル血圧計で測定した被検者 10 名の収縮期血圧を表に示す。この表から (A) の数値を算出した。

ケース番号	収縮期血圧 (mmHg)	左記収縮期 血圧の平均値 からの偏差	左記収縮期 血圧の偏差の 2乗
1	120	-3.5	12.25
2	111	-12.5	156.25
3	98	-25.5	650.25
4	126	2.5	6.25
5	129	5.5	30.25
6	150	26.5	702.25
7	144	20.5	420.25
8	128	4.5	20.25
9	130	6.5	42.25
10	99	-24.5	600.25
合計	1,235	—	2,640.50
合計÷ケース 数	123.5	—	(A) 264.05

(A) が表しているのはどれか。(2011 年度午後問題 25)

- 1. 分散
- 2. 幾何平均
- 3. 平均偏差
- 4. 標準偏差

[問題 151] ある事業所から発熱・下痢の集団発生があった旨の連絡があり、疫学調査を行った。

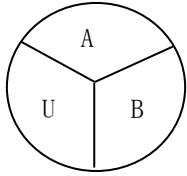
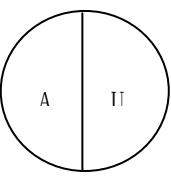
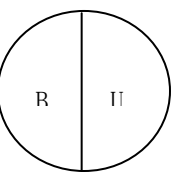
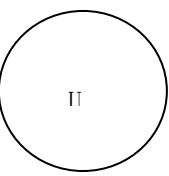
分析において有用性が低いのはどれか。(2011 年度午後問題 31)

- 1. 流行曲線
- 2. ROC 曲線
- 3. 量 - 反応関係
- 4. 職場別発生地図
- 5. マスターテーブル

[問題 152] 患者調査に関して正しいのはどれか。2つ選べ。(2011 年度午後問題 35)

- 1. 毎年実施される。
- 2. 受療率が算出される。
- 3. 有訴者率が算出される。
- 4. 無作為抽出された病院・診療所を対象に調査する。
- 5. 一定月の 1 週間に受診した患者に関する調査である。

【問題 153】 ある疾患の原因A・B・Uの状況を表に示す。A、Bは既知の原因、Uはその他の未知の原因である。A・B・Uの原因が重なって十分条件を満たすことになり罹患した「パターン1」の患者が全患者の30%、同様にA・Uの原因が重なって罹患した「パターン2」の患者が40%、B・Uの原因が重なって罹患した「パターン3」の患者が20%、Uの原因で罹患した「パターン4」の患者が10%であった。（2012年度）

パターン分類	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
				
患者の割合	30%	40%	20%	10%

Aの原因を完全に除去できたと仮定すると、この疾患の罹患を減らすことができる割合はどれか。

1. 30%
2. 40%
- 3. 70%
4. 100%

【問題 154】 基準集団とA市との年齢階級別人口と死亡数とを表に示す。（2012年度）
(人)

年齢階級	基準集団		A市	
	年齢階級別人口	死亡数	年齢階級別人口	死亡数
40歳未満	80,000	80	3,000	6
40～64歳	80,000	160	6,000	6
65歳以上	40,000	160	9,000	18
合計	200,000	400	18,000	30

直接法によるA市の人口10万人当たりの年齢調整死亡率はどれか。（2012年度）

- 1. 160
2. 200
3. 320
4. 370

【問題 155】 ある地域における喫煙者と非喫煙者とに分けた疾患の罹患率（人口 10 万人年対）について調査した結果を表に示す。（2012 年度）

	肺癌	咽頭癌	慢性閉塞性 肺疾患	虚血性 心疾患
喫煙者	120	80	150	350
非喫煙者	30	20	70	180

喫煙による寄与危険が最も大きな疾患はどれか。

1. 肺 癌
2. 咽 頭 癌
3. 慢性閉塞性肺疾患
- 4. 虚血性心疾患

【問題 156】 感染症のアウトブレイクで正しいのはどれか。（2012 年度）

1. 国際的な流行をいう。
2. 国内常在感染症では起こらない。
3. 動物由来感染症では起こらない。
- 4. 通常ではほとんどない疾病の発症数が突然増加することをいう。

【問題 157】 食中毒発生時の疫学調査で用いないのはどれか。（2012 年度）

- 1. 生命表
2. 流行曲線
3. 症例の定義
4. マスターテーブル

【問題 158】 単位が同じである統計値の組合せで正しいのはどれか。（2012 年度）

- 1. 中央値 —— 四分位偏差
2. 平均値 —— 分散
3. 最頻値 —— 変動係数
4. 分散 —— 範囲

【問題 159】 国勢調査について正しいのはどれか。（2012 年度）

1. 住所の情報は含まない。
- 2. 調査は世帯ごとに実施する。
3. 層化無作為抽出法で地域を選定する。
4. 日本に居住する外国人は対象としない。

[問題160] 平成20年の患者調査の結果に関する記述で正しいのはどれか。(2012年度)

1. 入院受療率は、前回調査と比べて増加している。
2. 傷病分類別外来受療率では、循環器系の疾患が最も多い。
3. 年齢階級別外来受療率は、年齢が上がるとともに上昇する。
- 4. 傷病分類別入院受療率では、精神及び行動の障害が最も多い。

[問題161] 文献検索を行い、その結果見つけた文献を引用しながら論文を書いた。
適切でないのはどれか。(2012年度)

- 1. 抄録で内容が確認できたため本文を読まずに引用した。
2. 見つけた文献で使われていたキーワードで再検索した。
3. 該当文献が多かったため原著論文に限定して再検索した。
4. 出典を明示して著者の許可を得ずに文章の一部を引用した。

[問題162] 就業保健師数が最も多いのはどれか。(2012年度)

1. 病院・診療所
2. 介護保険施設
3. 事業所
4. 保健所
- 5. 市町村

次の文を読み 163～165 の問いに答えよ。

A市では肺がん検診の結果、肺癌と判明する事例が近年著しく増加していることから、統計的に要因分析することとした。A市には10年前までアスベストの工場があった。この地域ではがん登録事業を行っていない。隣接するB市とC町は、生活環境や住民の年齢構成がA市と類似している。(2012年度)

[問題163] A市の肺癌の状況を、B市およびC町と比較する際に、国や県が実施して結果を公表している調査結果を利用することにした。(2012年度)

活用できる指標はどれか。

1. 肺癌有病率
2. 肺癌罹患率
- 3. 肺癌死亡率
4. 肺癌検診受診率

[問題164] 検証の結果、B市とC町よりも、A市における肺癌の増加傾向が顕著であることが分かった。保健師は肺癌罹患に対するアスベスト工場の影響を調べたいと考えた。疫学調査法で最も適切なのはどれか。(2012年度)

1. 横断研究
2. 介入研究
3. コホート研究
- 4. 症例対照研究

[問題165] 調査の結果、肺癌罹患とアスベスト工場との関連は認められなかった。要因分析の観点から次に行うことで有用なのはどれか。(2012年度)

- 1. 生活習慣との関連について分析する。
- 2. 年齢調整した指標を用いて3市町を比較する。
- 3. 肺癌患者のがんの家族歴について分析する。
- 4. 年次ごとに肺癌患者数をプロットして回帰係数を求める。

[問題166] 日本において30年前と比べて現在の数値が増加しているのはどれか。(2012年度)

- 1. 総人口
- 2. 合計特殊出生率
- 3. 人口性比(男/女)
- 4. 生産年齢人口割合

[問題167] 近年の日本における結核の状況と対策について正しいのはどれか。(2012年度)

- 1. 先進国の中では罹患率は低い。
- 2. 死因別死亡者数上位10位以内である。
- 3. 罹患率は平成12年以降減少し続けている。
- 4. 新規登録患者は高齢者よりも若年者が多い。

[問題168] 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)において、2類感染症とされているのはどれか。(2012年度)

- 1. 結核
- 2. 後天性免疫不全症候群
- 3. 腸管出血性大腸菌感染症
- 4. H5N1型を除く鳥インフルエンザ

[問題169] 有病率を低下させる要因はどれか。(2012年度)

- 1. 罹患率が高くなる。
- 2. 平均有病期間が長くなる。
- 3. 観察集団から健康な人が流出する。
- 4. 重症化して短期間に死亡する人が増える。

【問題170】 脳卒中発症に対する喫煙の影響を調べるために、コホート研究を行った。10年間の追跡期間に、各対象者について、発症日または転出等によって追跡から脱落した日を特定することができた。

相対危険を計算する場合に最も適しているのはどれか。（2012年度）

1. オッズ比
2. 有病率比
- 3. 罹患率比
4. 累積罹患率比

【問題171】 ある集団に対してスクリーニング検査と確定診断とを同時に実施した結果を表に示す。（2012年度）

(人)

		確定診断による判定		計
		疾患あり	疾患なし	
スクリーニング検査 結果	陽 性	100	100	200
	陰 性	5	795	800
計		105	895	1,000

特異度はどれか。

1. 50.0 %
2. 62.5 %
- 3. 88.8 %
4. 95.2 %

【問題172】 感染経路とその拡大防止策の組合せで正しいのはどれか。（2012年度）

1. 水系感染 —— 河川の消毒
- 2. 空気感染 —— 換気の励行
3. 接触感染 —— マスクの着用
4. 垂直感染 —— 妊婦へのワクチン接種

【問題173】 一時点における横断的な全国調査によって求められている保健統計値はどれか。（2012年度）

- 1. 朝食欠食率
2. 合計特殊出生率
3. インフルエンザ患者発生数
4. 病原性大腸菌による死者数

【問題 174】 男性の特定健康診査受診者について定期的運動の有無と腹囲との関連を分析し、t 検定を行った結果を表に示す。(2012 年度)

	運動あり群	運動なし群	P 値
腹囲平均	81.6cm	83.3cm	0.024

この結果で正しいのはどれか。

1. 運動あり群の方が腹囲が2.4%小さい。
2. 運動あり群の方が腹囲が小さくなる確率は2.4%である。
- 3. 両群で腹囲に差がないのに、偶然これだけの差が出る確率が2.4%である。
4. 運動あり群のうち運動なし群の平均よりも腹囲が大きいのは2.4%である。

【問題175】 平成20年における日本の糖尿病に関する調査結果で正しいのはどれか。(2012年度)

1. 40歳代が受療率のピークである。
2. 総患者数は男性よりも女性が多い。
3. 死因別死亡者数上位5位以内である。
4. 「糖尿病を強く疑う人」は1,200万人である。
- 5. 人工透析導入の原因疾患では糖尿病腎症が第1位である。

【問題176】 日本の人口動態統計で正しいのはどれか。(2012年度)

1. 海外在住の日本人は含まない。
- 2. 死因はICD-10に基づき分類する。
3. 出生・死亡・死産の3種類である。
4. 都道府県の保健衛生部門が集計製表を行う。
5. 明治32年(1899年)以降の毎年のデータがある。

次の文を読み 177～179 の問いに答えよ。

8月1日（金）に病院の医師から保健所へ、腸管出血性大腸菌感染症の患者5人の届出があった。患者は保育所の5歳児クラスの児1人、3歳児クラスの児3人および3歳児クラス担当の保育士1人であり、腹痛と下痢の症状がみられた。保育所では施設内調理による集団給食を提供しており、0歳児のみが別メニューである。保健所が保育所の所長から情報収集したところ、腹痛、下痢および発熱のために休んでいる児が数人いるという。児と職員（総数102人）の出席・出勤状況を表に示す。（2012年度）

（人）

	7/25(金)	7/28(月)	7/29(火)	7/30(水)	7/31(木)
児出席・職員 出勤	99	101	101	96	94
	(21)	(21)	(21)	(0)	(0)
児欠席・職員 欠席	3	1	1	6	8

*（ ）は児出席者・職員出勤者のうち、遠足で給食を食べていない者の再掲である。

【問題 177】 保健所で検便を実施することとした。（2012年度）

検便の対象者として適切なのはどれか。

1. 患者の同居家族
2. 有症状の児とその同居家族
- 3. 全児および全職員とその同居家族
4. 3歳児クラスと5歳児クラスの全児とその同居家族
5. 全職員とその同居家族

【問題 178】 患者5人は自宅療養しており、保健所保健師は8月1日（金）に家庭訪問をすることにした。

患児の家族への保健指導で適切なのはどれか。2つ選べ。（2012年度）

1. 「下痢が続く間は、水分をとらないでください」
- 2. 「お子さんは浴槽に入れず、シャワーにしてください」
3. 「便が付いたお子さんの下着は、素手で洗って構いません」
- 4. 「いつも利用している水道の水は、そのまま飲んでも大丈夫です」
5. 「お子さんの症状がなくなった後は、他の人にうつる可能性はありません」

【問題 179】 8 月 4 日（月）までに新たに 20 人の患者の届出があり、発症者は合計 25 人となった。欠席者の症状と症状出現時期との関係から、7 月 30 日（水）よりも前に腸管出血性大腸菌に曝露した可能性が考えられた。発症者 25 人の給食の喫食の有無を表に示す。

(人)

	7/25 (金)	7/28 (月)	7/29 (火)
給食を食べた	13	23	18
給食を食べない	12	2	7

正しいのはどれか。(2012 年度)

1. 3 日間の中では 7 月 25 日の給食による発症のリスクが高い。
- 2. 3 日間の中では 7 月 28 日の給食による発症のリスクが高い。
3. 3 日間の中では 7 月 29 日の給食による発症のリスクが高い。
4. 給食による発症のリスクは 3 日間とも同じである。

次の文を読み 180～182 の問いに答えよ。

人口 5 万人の市。市は 4 市町村が合併し 87 地区がある。保健師は市保健センターで今年度から成人保健対策の責任者となった。

【問題 180】 市の過去 4 年間の特定健康診査の結果を表に示す。(2012 年度)

(%)

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
高 血 圧	44.0	40.5	40.2	36.4
脂 質 異 常	37.9	37.8	40.3	42.0
高 血 糖	18.1	20.0	32.8	35.2
喫 煙 あり	30.4	33.5	28.0	26.0
ストレスあり	47.0	45.8	40.3	37.3

一次予防プログラムとして優先度が高いのはどれか。

1. 減塩料理教室
- 2. ウォーキング教室
3. レストランの分煙事業
4. ストレスコントロール教室

【問題181】保健師は、生活習慣病予防プログラムを検討する中で、住民の健康行動や知識などについて詳しく確認する必要性を感じた。次年度の企画のためにアンケート調査を実施することにした。

調査方法として最も適切なのはどれか。(2012年度)

1. デルファイ法
- 2. クラスタ抽出法
3. インターセプト法
4. スノーボール・サンプリング法

【問題182】住民の健康行動や知識などについて詳しく確認する調査は5年前にも実施していた。そこで今回の調査結果と比較を行うことにした。メタボリックシンドロームについての理解度の結果を表に示す。(2012年度)

(人)

	よく理解している	少し理解している	あまり理解していない	まったく理解していない
5年前	30	60	190	20
今回	60	130	90	20

このデータを統計分析するのに適切な分析方法はどれか。

1. t検定
2. 単回帰分析
3. 一元配置分散分析
- 4. マンホイットニーU検定(順位和検定)